



# 東京病院 呼吸器専門研修プログラム専攻医募集案内

院長 松井 弘稔

医療法許可病床数522床（呼吸器系248床－COVID病床除く）

初期臨床研修制度協力型研修指定病院

日本呼吸器学会専門医21名、指導医12名が常勤

経験した症例や技術・技能を登録し、指導医が評価していく  
J-OSLER-呼吸器のプログラムで呼吸器専門研修修了を目指します。

当院は内科専門研修・呼吸器専門研修の連動研修にも積極的に  
取り組んでいます。研修内容の詳細は内科専門研修の案内もご参照  
ください。

定員：基幹施設プログラム/関連施設プログラム 若干名

下記メールアドレスまでご連絡ください。

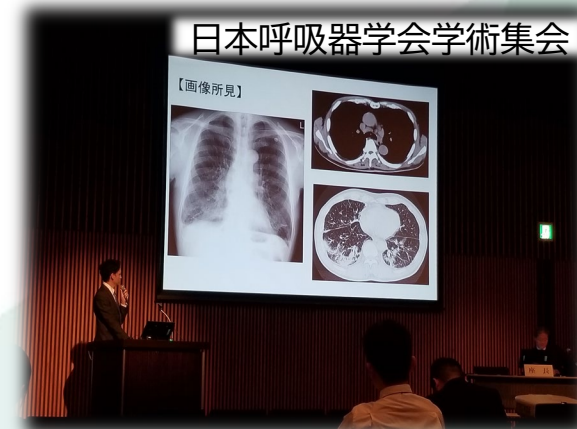
呼吸器内科 川島 正裕

✉ [kawashima.masahiro.wr@mail.hosp.go.jp](mailto:kawashima.masahiro.wr@mail.hosp.go.jp)

採否：面接を実施して決定します。

見学と応募の後に面接の日程をお知らせします。

一緒に呼吸器臨床医の研鑽を積んでいきましょう。ご応募をお待ちしています。



令和5年4月1日

# 東京病院 呼吸器専門 研修プログラム

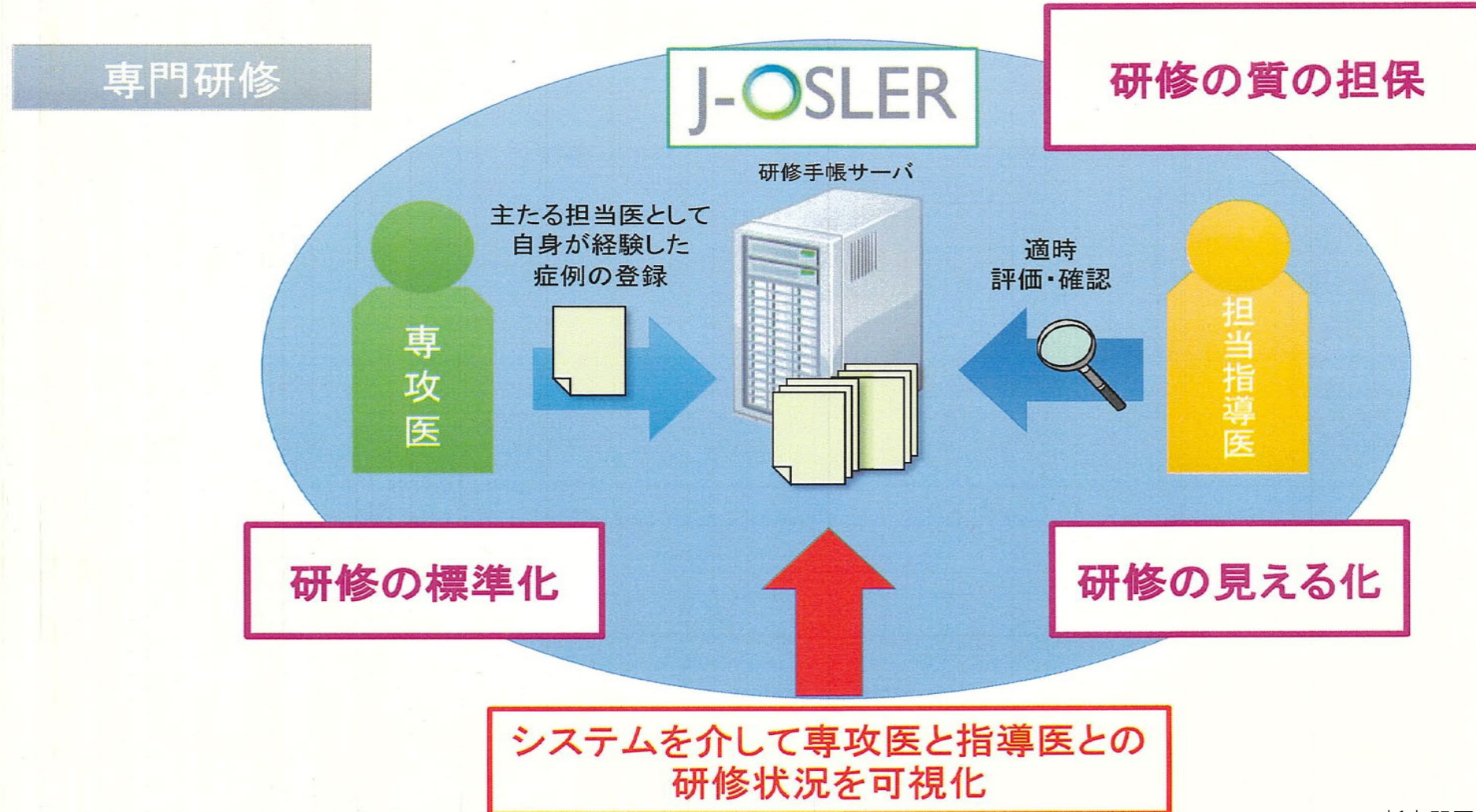
J-OSLER-呼吸器は、専攻医が経験した症例や技術・技能を登録し、指導医が評価することで呼吸器専門研修修了を目指す「症例登録・評価システム」



# 日本内科学会専攻医登録評価システム

Online system for **S**tandardized **L**og of **E**valuation and **R**egistration of specialty training system

## 症例登録と評価のイメージ



# 呼吸器内科専門医研修の必須項目

下記1)～3)の確認, およびJ-OSLER-呼吸器に4)～8)のすべてが登録され  
(9)の受講は推奨, かつ担当呼吸器指導医が承認していることを呼吸器内科領  
域専門研修管理委員会と呼吸器内科領域専門研修統括責任者が確認して, 修  
了判定を行う.

1) 基本領域の専門医(内科専門医もしくは外科専門医)であること

(ただし, 基本領域専門研修の状況により修了見込みとして, 基本領域専門医の認定後に修了とすることができる)

2) 非喫煙者であること

(呼吸器内科領域専門研修統括責任者が証明すること)

3) 呼吸器内科領域専門研修期間が3年間以上あること

(基本領域との連動研修期間を含めて)

# 呼吸器内科専門医研修の必須項目

下記1)～3)の確認, および**J-OSLER-呼吸器に4)～8)のすべてが登録され**  
(9)の受講は推奨), かつ担当呼吸器指導医が承認していることを呼吸器内科領  
域専門研修管理委員会と呼吸器内科領域専門研修統括責任者が確認して, 修  
了判定を行う.

4) 主担当医, 主病名としての呼吸器内科領域専門研修カリキュラム各論に定め  
る全10疾患・病態群を網羅し**計150例以上**(外来症例は75例まで)の経験. 修了  
要件(病歴要約数, 症例経験数)参照.

5) 上記診療経験を基に記載した**25例の病歴要約の受理**(呼吸器内科領域専門  
医認定・更新資格審査委員会による審査)

6) 所定の**必須技術の経験(50例以上)**. 修了要件(必須技術最小経験数)参照.

# 呼吸器内科専門医研修の必須項目

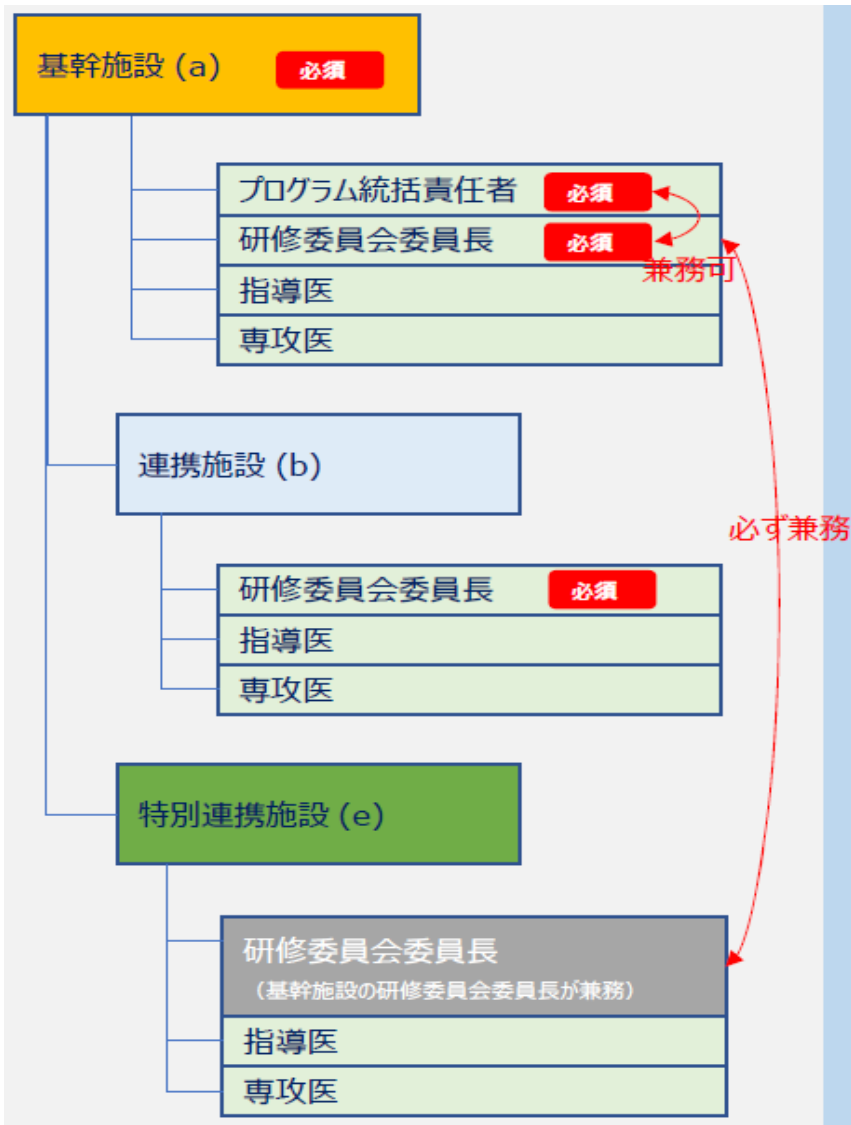
下記1)～3)の確認, およびJ-OSLER-呼吸器に4)～8)のすべてが登録され  
<9)の受講は推奨>, かつ担当呼吸器指導医が承認していることを呼吸器内科領  
域専門研修管理委員会と呼吸器内科領域専門研修統括責任者が確認して, 修  
了判定を行う.

7)所定の呼吸器病学関連の論文3編以上および呼吸器関連学会での発表3編  
以上(筆頭著者と筆頭演者を1編含むのが望ましい)

8)呼吸器内科領域専門研修として定める講習会(臨床呼吸機能講習会は必須)  
の受講

9)呼吸器内科領域専門研修として定めるeラーニングコンテンツ(CT1:呼吸器  
(内科)専門医資格取得を目指す方へ)の受講(推奨)

# 東京病院 呼吸器専門研修プログラム指導医



- 統括責任者の役割
  - ・専攻医のユーザー登録申請の承認
  - ・プログラムの転出, 転入の承認
  - ・病歴要約の指導医選択
  - ・病歴要約の決裁
- 研修委員会委員長の役割
  - ・担当指導医の承認
- 指導医の役割
  - ・症例, 病歴要約の評価

井上	恵理
大島	信治
小田島	丘人
川島	正裕
佐々木	結花
佐藤	亮太
島田	昌裕
田村	厚久
永井	英明
成本	治
松井	弘稔
守尾	嘉晃

# 東京病院 呼吸器専門研修プログラム施設群

東京病院-基幹施設		東京病院-連携施設
連携施設	防衛医科大学校病院	基幹施設
連携施設	公立学校共済組合関東中央病院	東京医療センター
連携施設	社会福祉法人三井記念病院	東京都立多摩総合医療センター
連携施設	国立病院機構東京医療センター	東京山手メディカルセンター
連携施設	地域医療機能推進機構東京山手メディカルセンター	三井記念病院
連携施設	東京慈恵会医科大学	東京労災病院
連携施設	東京大学医学部附属病院	相模原病院
連携施設	地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立多摩総合医療センター	東京大学医学部附属病院
連携施設	東邦大学医療センター大森病院	東京慈恵会医科大学
連携施設	独立行政法人国立病院機構災害医療センター	東邦大学医療センター大森病院
連携施設	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター	防衛医科大学校病院
連携施設	社会医療法人社団健生会立川相互病院	千葉大学医学部附属病院
連携施設	独立行政法人国立病院機構相模原病院	島根大学医学部附属病院
連携施設	自治医科大学附属さいたま医療センター	自治医科大学附属さいたま医療センター
連携施設	独立行政法人労働者健康安全機構東京労災病院	
連携施設	独立行政法人国立病院機構宇都宮病院	
連携施設	国立大学法人千葉大学医学部附属病院	
特別連携施設	健貢会総合東京病院	





# 内科版J-OSLER年間スケジュール (標準)

## 内科専門研修を3年間で修了を目指す場合

内科学会HP > J-OSLERトップ > 登録と評価 > 専門研修の流れ

[https://www.naika.or.jp/jsim\\_wp/wp-content/uploads/2020/12/NAIKA\\_J-OSLER\\_standard\\_schedule\\_A4\\_2.pdf](https://www.naika.or.jp/jsim_wp/wp-content/uploads/2020/12/NAIKA_J-OSLER_standard_schedule_A4_2.pdf)

	1~2年目												3年目~						研修修了後~						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
<b>症例</b>	症例 登録・評価												症例 登録・評価												
専攻医 症例指導医																									
<b>病歴要約</b>	病歴要約 (個別評価) 登録・評価																								
専攻医 担当指導医																									
<b>病歴要約 (一次評価)</b>	病歴要約 (一次評価) 登録可												病歴要約 (一次評価) 提出・評価												
専攻医 病歴指導医 プログラム統括責任者																									
<b>病歴要約 (二次評価)</b>													病歴要約 (二次評価) 提出・評価												
専攻医 査読委員																									
<b>技術技能評価</b>	技術技能評価			技術技能評価			技術技能評価			技術技能評価			技術技能評価			技術技能評価									
専攻医 担当指導医	技術技能評価			技術技能評価			技術技能評価			技術技能評価			技術技能評価			技術技能評価									
<b>研修評価</b>	自己評価			自己評価			自己評価			自己評価			自己評価			自己評価									
専攻医	指導医評価			指導医評価			指導医評価			指導医評価			指導医評価			指導医評価									
担当指導医	専攻医評価			専攻医評価			専攻医評価			専攻医評価			専攻医評価			専攻医評価									
	多職種評価			多職種評価			多職種評価			多職種評価			多職種評価			多職種評価									
<b>修了認定</b>	学術活動等 登録可												学術活動等 登録可						登録・依頼						修了認定
専攻医 プログラム統括責任者																									

登録した研修実績の参照のみ可能

生涯研修

サブスペ専門研修

基本領域専門研修

初期臨床研修

卒前教育  
クリニカルクラークシップ

共通プログラム

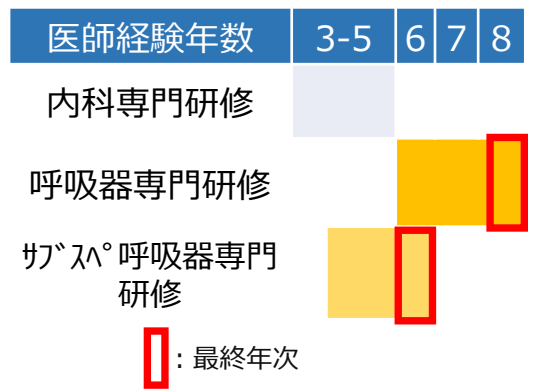
領域別プログラム



# 呼吸器専門研修最終年次の 病歴要約の評価と審査

J-OSLER-呼吸器  
リリース

病歴要約作成と評価の手引き



次年度10月  
日本呼吸器学会専門医試験